

一般財団法人戸田みらい基金
若手技能者の採用や育成に資する活動に対するステップアップ助成

団体名：中屋敷左官工業株式会社

テーマ：コンクリート土間精度向上の実践的トレーニング

初年度活動期間：2021年1月～2021年12月

発表日：令和4年3月8日



中屋敷左官工業株式会社

企業概要

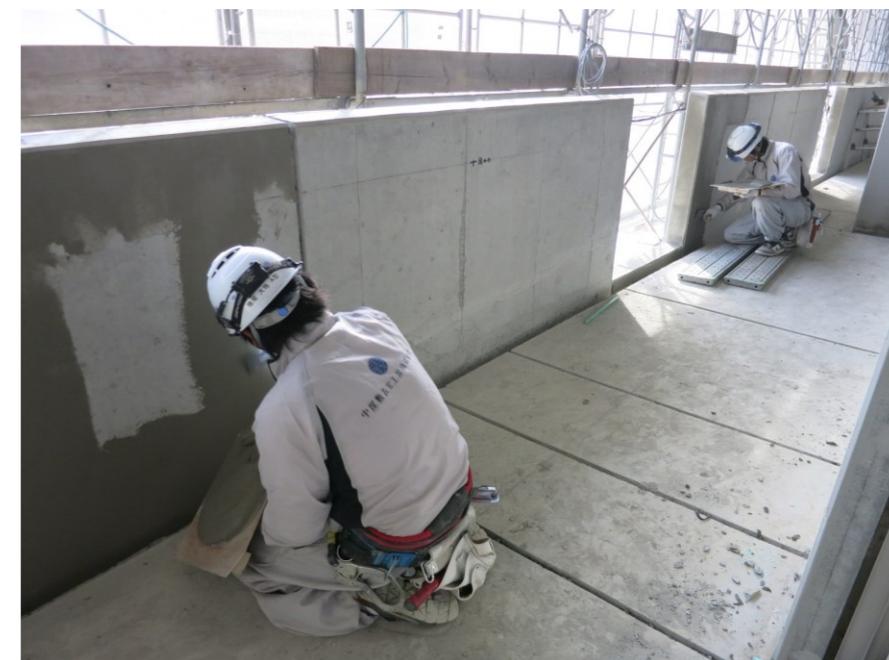


中屋敷左官工業株式会社

昭和17年創業

札幌を拠点とし、一般住宅からマンション大規模ビルまで手掛けている左官工事業者

従業員数50名、うち職人44名（すべて社員職人）



「自分達の仕事は自分達の手で」の本体施工がモットー

前回助成時（2018年）の事業活動について （第4回若手技能者の採用や育成に資する活動に対する助成）

テーマ：動画を活用した左官技能検定トレーニングの取り組み



活動報告

2017年に日本左官業組合連合会で製作した技能検定トレーニングDVDを活用して、弊社左官技能研修センターにてトレーニングを行った。

お手本映像を参考にトレーニングすることで、活字が苦手な若手も学びやすくなった。

教える側も映像を見ながら説明出来るため教え易くなった。

（1級左官技能士3名、2級左官技能士2名合格）

ステップアップ助成第一弾 （2021年1月～12月）

初年度テーマ： **コンクリート土間精度向上の実践的トレーニング**

現在の建築工事における左官工事において重要視されるのは「**床コンクリート仕上げ（土間工事）の精度と施工能力**」と言える。

特に北海道は本州のように土間屋と呼ばれる土間の専門工事会社がないため、左官職人が土間も施工をする。高齢の職人では大きな土間施工が出来ないため、大規模土間をしっかりと施工できることが今後事業を進めていく上でとても重要な要素となる。

特に大規模のコンクリート土間工事は個々のスキルと作業連携が非常に重要となる。また土間作業は毎日行うわけではない。その為、現場作業だけで技術を身につけることが難しく大きな課題であった。

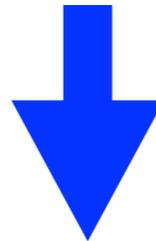
今回のステップアップ助成の活動として、若手技能者がコンクリート床仕上げ（土間工事）を身につけられる取り組みを計画した。

コンクリート床施工要領システム化のメリット

今まで

社内で土間施工の画一した施工法がなく、職人一人一人が持っている独自の技術力によるものが大きく、特に土間施工は大人数のチームで施工することが求められる。その為、技能者の能力によって完成度が大きく左右されていた。

さらに若手育成の観点では、先輩職人それぞれのやり方が違うため、若手がどのやり方を学べば良いかわからず、結果正しい土間の施工方法がわからない状態が続いていた。



改良後

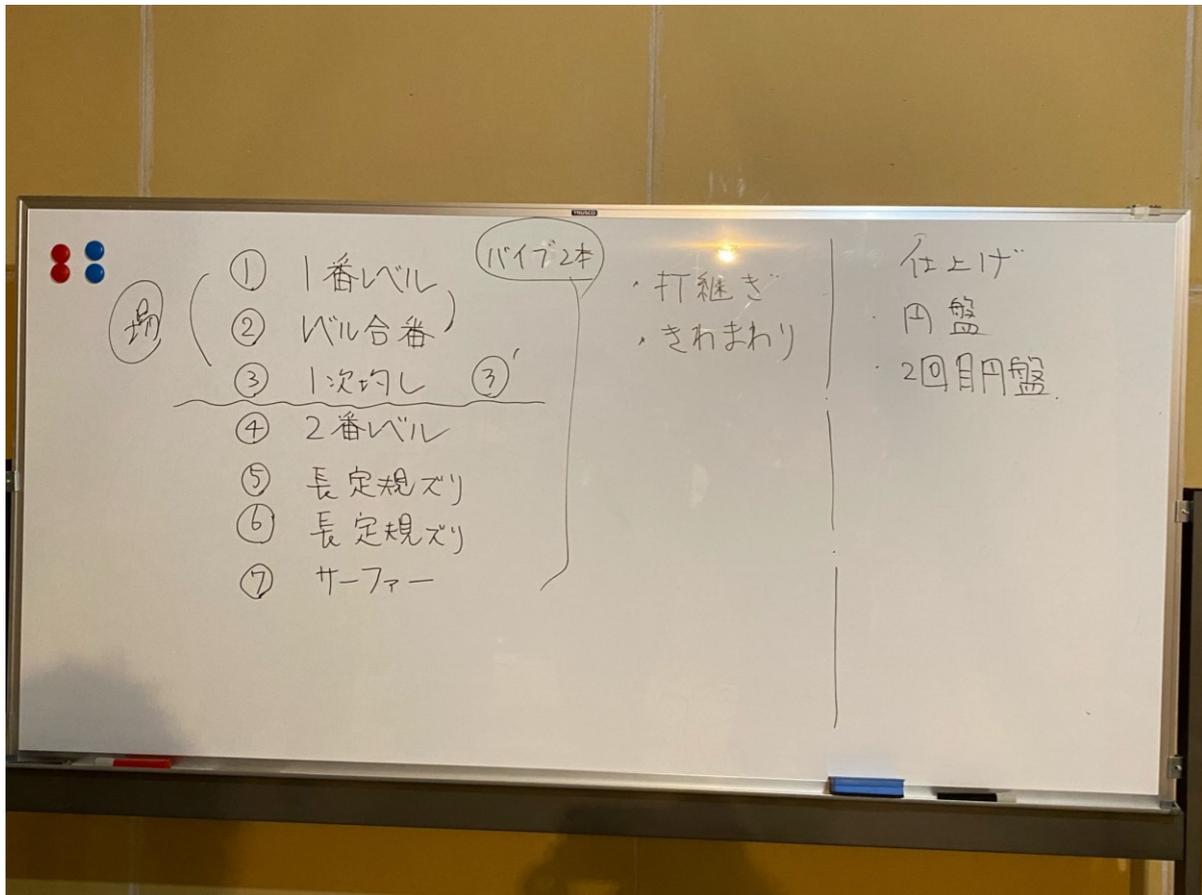
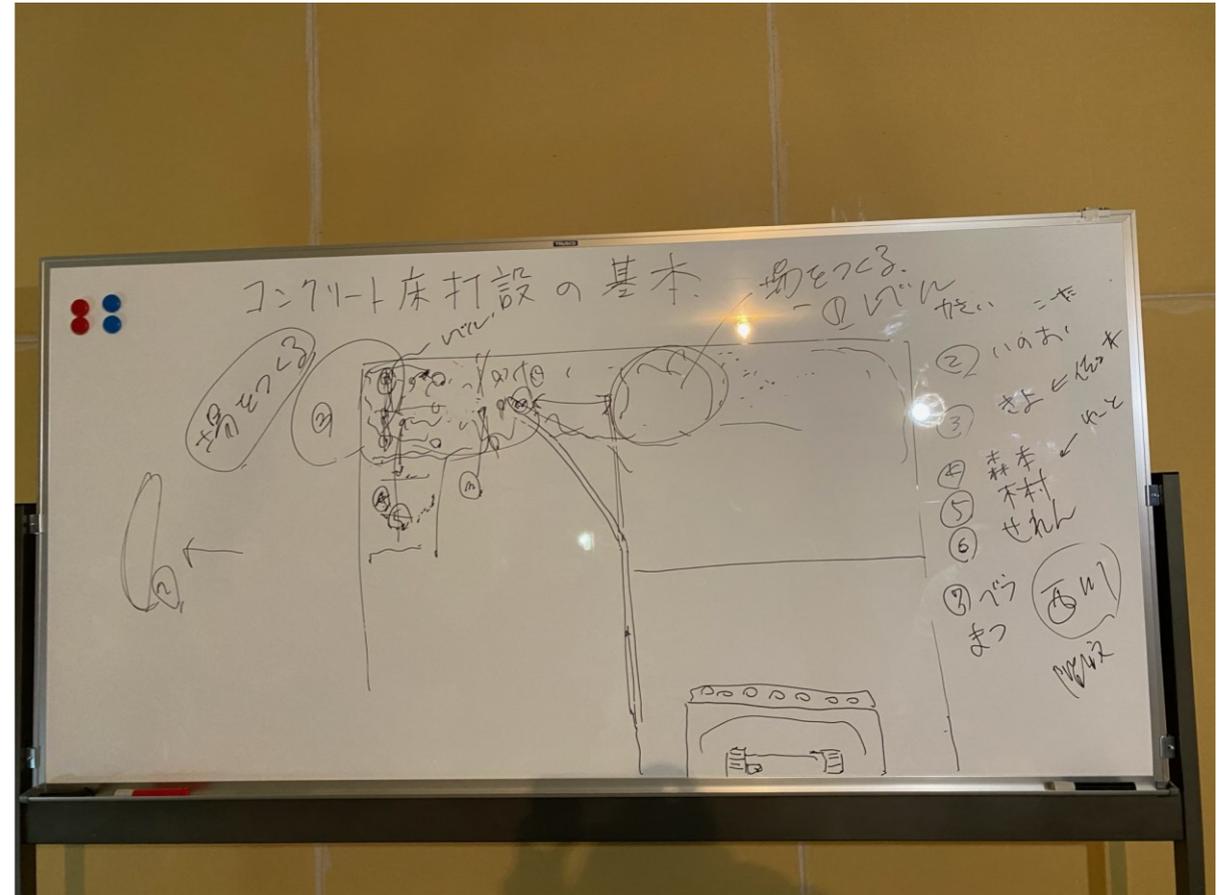
施工要領、施工手順、役割分担をすべてシステム化し、それを教育プログラムにして社員全員が同じ講習会を受講し技術を共有することで、仮に日々施工メンバーが変わっても、品質を保つことが可能になる。

先輩社員全員が同じ理論と技術で施工することで、若手技能者がどの先輩についても同じ学びを出来るようになり習熟スピードが上がる。

今年度の新入社員育成プログラムから、既存の塗り壁トレーニングに加える予定。

step1

土間施工における理論研修（全体研修）



今まで「なんとなく」施工をしていた土間工事をすべて細かく作業分解し、土間の施工要領を言語化しシステム化。
役割をすべて細分化し、それぞれの作業内容注意点等も明確にし、全員が同じ理論を学ぶ。
その理論をもとに現場で実践し動画に収める。

たった1度の理論研修だけで、今までとは全く違った作業風景に

それまでの土間施工



理論研修後の土間施工

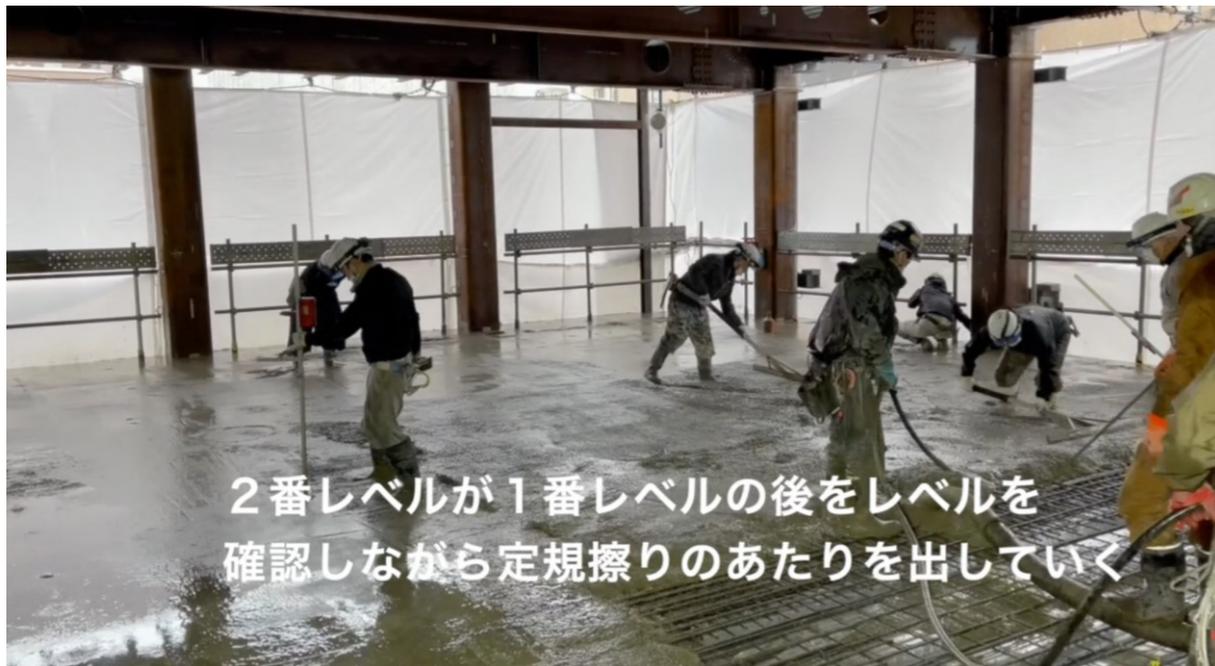


step2



自分達の土間施工の映像を見ることで自分達の動きを客観視させ、動きの無駄など自分達で改善案を出し施工要領をブラッシュアップさせる。そして、より一つ一つの作業を細かく理論化していく。

それらの内容を動画に落とし込み、社員専用のYouTube教育動画としてアップ
これにより、社員全員がいつでもどこでも学ぶことができる



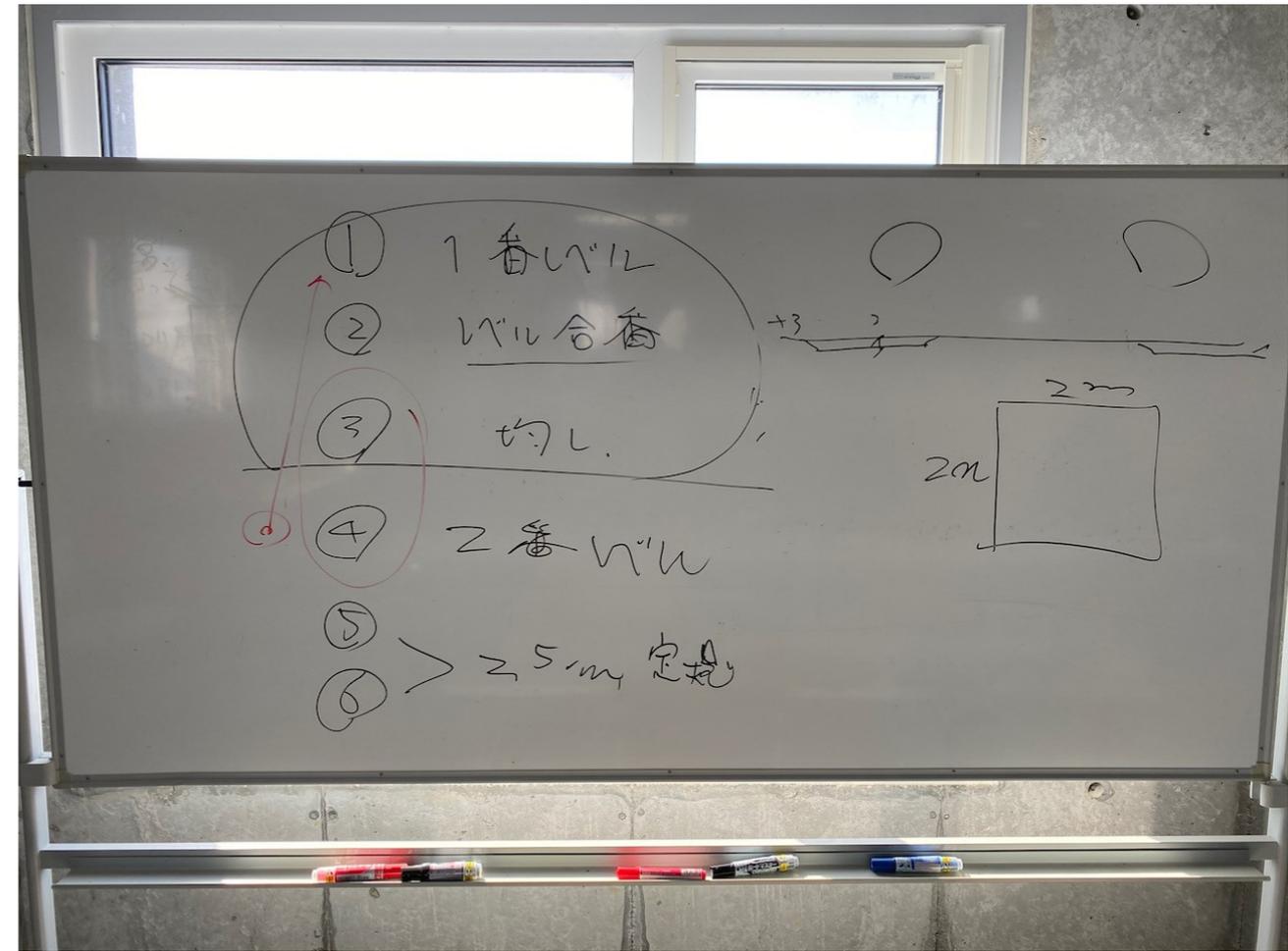
step3

土間均し技能習得実技研修会を開催

全体研修でコンクリート床仕上げの理論を共有したのち、左官技能研修センターにて個別の技能習得を目的とした実技研修を5名1チームで行った。

まずは座学で土間施工の流れを再確認し、6つに分けられた役割分担をひとつひとつ確認。

その後、コンクリート均しの基礎動作、具体的な細かい作業技術をお手本動画を参考に学ぶ。





弊社の人材育成の特徴であるモデリング手法による技能習得
一流の技術を動画を活用してモデリング



砂をコンクリートに見立てコンクリート均し作業をロールプレイ



全員が①－⑤の役割を交代で行い、均し終わるたびレベルを細かく測定し精度を確認



動画を撮影し、それを確認して改善の繰り返し



活動成果

各個人が自分の役割を理解し、作業現場が整然とロスなく進むようになった。その結果コンクリート土間の施工精度も上がり、施工メンバーが変わっても問題が起こりづらくなった。作業をシステム化することで、今までの作業負荷を10とすると、今回の取り組みで7割程度になったと作業員は言う。

今まではどちらかという「土間作業は大変な作業」「できればやりたくない作業」とネガティブな感情を持っていたのが、やればやるほど精度も上がり体も以前より楽なので、ポジティブなものに変化している。今回行った研修センターでの砂を用いたトレーニングはとても効果が高かったので、振り返り研修を行っていく予定。

最後に

次年度ステップアップ助成活動内容は
若手技能者を対象に、失われつつある左官伝統工法「本しっくい」の技能
継承となっております。

ご清聴ありがとうございました。



中屋敷左官工業株式会社